

くがはら

平成22年 (2010年)

4月1日号

第80号

創刊20周年 記念

カラー版

特別号

発行：地域力推進久が原地区委員会 編集：地域情報紙「くがはら」編集委員会 事務局：久が原特別出張所 〒146-0085 大田区久が原4-12-10 ☎3752-4271 FAX3752-4514

地域情報紙「くがはら」が20周年を迎えました



ヒルズ久が原横
(ヒルズ久が原自治会)



東調布公園 (道々橋自治会)



千鳥いこい公園
(久が原南自治会)



久が原2丁目
(久が原東自治会)



久が原4丁目
(久が原西自治会)

各地区自治会長のみなさん



久が原地区自治会マップ



未来をリードする情報紙へ

久が原文化の発信

久が原地区

自治会連合会会長

小原洪一

地域情報紙「くがはら」が発行されて二十周年を迎えました。おめでとうございませぬ。

地域情報紙に求められる内容は多岐に渡っています。幼児から高齢者までが要求するテーマは多くあります。が、その時々々の社会情勢や人々の関心あることごとを汲み取ることが大切かと思えます。

お店に来るお客様の要望に、直ちに仕入れをする町の店主。子どもたちの心をとらえる品物を並べて、子どもたちを驚かせない駄菓子屋のおばさん等。それぞれが努力している様子は町を活性化し、知らず知らず元気があふれる町といわれる基となっています。

地域情報紙も、そのときの社会情勢から人々が求めるテーマを探し出すことが必要かと思えますが、実際には難しいことですが、むしろ地域の人の関心を情報紙がリードするものとなることを期待します。

久が原の文化とはなに？と問われると、ひとりでいえる答えがありません。過去の情報紙を見ると、「緑の町」「安心して暮らせる町」など、住宅地としての文化が見受けられます。毎号の記事の積み重ねの結果、この情報紙によって久が原文化の発信ができればと思っています。

イベント情報

- 新入学交通安全祈願祭**
日時：4月4日(日)午前10時～
場所：道々橋八幡神社社務所
 - 久が原南自治会シニアクラブ総会**
日時：4月中旬
場所：久が原南自治会館
 - 久が原西自治会定期総会**
日時：4月22日(木)午後7時～
場所：久が原会館
 - 道々橋自治会定時総会**
日時：4月24日(土)午後6時～
場所：道々橋八幡神社社務所
 - 久が原東寿会総会**
日時：4月24日(土)午後1時30分～
場所：久が原東部八幡神社社務所
 - 子どもガーデンパーティー**
日時：4月25日(日)午前10時～
場所：洗足池公園
 - 久が原東自治会定期総会**
日時：5月8日(土)午後7時～
場所：久が原東部八幡神社社務所
 - 久が原南自治会定期総会**
日時：5月16日(日)午前10時～
場所：久が原南自治会館
 - ライラック祭り**
日時：5月23日(日)午前10時～
場所：ライラック通り商店街
- ◇問合せ先 久が原特別出張所
(3752) 4271

創刊20周年に

寄せて

地域情報紙

「くがはら」

編集の思い出 新井信子

弥生時代の大遺跡として知られている私たちのまち・久が原は、二万五千年ほど前の旧石器時代からの遺物も出土している、長い長い歴史を持つ居住地域です。そして現在は、閑静な住宅地域社会として豊かに発展してきています。

しかし、住宅地なるがゆえに他の商工業地域とくらべて横の連絡が取りづらく、情報の不徹底さが難点でした。このことを深く心配され、何かよい方法はと手立てを思案されておられたのが、今は亡きわがまち大田久が原地区推進委員会長の三木兼吉氏でした。

氏の長年のご尽力で地域情報紙発行が企画され、当時の四自治会から出張所職員あわせて十三名の委員により、平成二年七月から地域情報紙「くがはら」として発行する運びとなりました。大田区内での地域情報紙発

刊第一号という成果でした。内容も地域に関するあらゆる情報、歴史、文化、行事等々が載せられ、閲覧方式で二年間、発行されました。

平成四年の四月(第八号)からは各家庭への戸別配付方式に切り替えられ、より情報の浸透をはかることができるようになりました。委員の活動もさることながら、地域からの情報提供も多々あり、号を重ねるごとに、中学生からお年寄りまで、また外国の方々の投稿もあり、地域に浸透していく情報紙の力をあらがたく頼もしく感じさせられたものです。

情報紙「くがはら」は、今回で創刊二十周年、第八十号の発行になります。おめでとうござります。久が原一万二千世帯を結ぶ情報紙のさらなる発展を心よりお祈りし、久が原に居住する幸せをかみしめさせていただきま



お役にたちます!!

**久が原東自治会
高齢者のみなさんを
「チョットおてつだい」**
小原洪一

昨年九月一日号の大田区報で紹介されました久が原東自治会の事業「チョットおてつだい」は、大田区平成二十年度地域活性化事業として登録されスタートしました。

高齢化が進み、ひとり暮らしの高齢者や高齢者世帯が増えています。足腰が弱ると、いつものあたりまえにできていた簡単な作業が困難になります。天井近く



久が原東自治会

の天袋にある品物を下ろしたい、または収納したいと思っても、体がいうことをききません。資源ゴミや生ごみなどが、一か月たまる

と手に負えなくなります。介護保険でも対象とならないちよつとした作業をお手伝いしましょうとの趣旨から、この事業が進められました。

推進するにあたり、お手伝い作業をする「おてつだい隊」の隊員募集を行います。また作業に必要な道具等を購入し、ザイナーに依頼し、おてつだい隊のワッペンなどにつけて使用しています。これ

多くの皆様にもつと知っていただく必要があります。ご意見をいただくと、「おてつだい隊」隊員も明日はわが身です。自分

だけでできないことが多くなります。近隣の方々同士でのお互いが助け、助けられる雰囲気があれば、「おてつだい隊」の必要もなくなると思います。これが、「チョットおてつだい」事業の最終目標です。

誕生しました!

**「スクールサポート
くがはら」**
久原小学校長 清水一豊

大田区では、学校を支援する「学校支援地域本部」を各小中学校単位で設立することを計画しています。学校からの要請を受け、授業や教育活動にかかわる地域の人材や機関等を紹介したり、活動をコーディネートしたりして、学校を支援するものです。

また、このような活動を通して地域力の向上を図ることも大切な目的となっております。

本校では、「スクールサポートくがはら」の名称で地域本部を設立し、二月より活動を進めています。コーディネーターは総合的な学習、教科の授業のゲストティーチャーや関係機関との連絡、活動内容や日程の調整等、学校と関係者とのコーディネートの役割を果たします。



現在、地域本部は次の方々によって構成されています。

会長 小原洪一 (久が原二丁目)
副会長 西川満智子 (久が原五丁目)

コーディネーター
小川富子 (久が原五丁目)
富田永美 (久が原四丁目)
白井洋子 (久が原五丁目)

地域の力を、子どもたちを育てることに生かしていきたいと考えています。皆様のご理解とご協力をお願いします。



**さわやか座
健康講座**
久が原健康サロン
さわやかサポート久が原
570015861

住み慣れた久が原の町で、いつまでも元気で健康に暮らしていた地域の皆様の共通の願いではないでしょうか。さわやかサポート久が原では、「健康」をテーマにした講習会「久が原健康サロン」を年に四回開催しています。認知症予防、腰痛体操、栄養講座など、各分野の専門家による講座は毎回好評をいただき、会場の特別出張所会議室は熱心に質問をする参加者で活気にあふれています。

今年度第一弾は六月に「耳よりな話」と題し、聞こえのメカニズムや補聴器の選び方についてお話しする予定です。今後もさまざまな切り口からテーマを取り上げ、皆様に情報発信してまいります。

編集後記

今号で発行二十年八十号となりました。これを記念して今号だけのカラー号です。発行当初の読むから見る情報紙へと時代によって紙面も変化してはいますが、地域の情報紙として親しまれる紙面作りにはしていきたいと編集者一同がんばってまいります。これからも皆さんの地域情報をお待ちしています。なお、今号の編集にあたっては編集委員の大林さんが大活躍でした。(小倉敦司)